

NPOマネジメント診断シート(Version6)

記入者情報シート

診断シート(1) マネジメント能力
診断シート(2) 人材
診断シート(3) 財務管理
診断シート(4) 事業の全体像
診断シート(5) 事業の効果をあげる

※記入者自身について質問

- 1 ご記入者氏名 ()
- 2 役職または役割 ()
- 3 お立場(該当するものすべてを選択)
理事・幹事・顧問 評議員 スタッフ 客員研究員 その他(具体的名称:
)
- 4 年代 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上
- 5 貴組織での就業年数 ()年
- 6 過去に担当した別の役職または役割があればご記入ください。()

※ 以下は、可能な範囲でお答え下さい。

- 1 貴組織で活動を始めたのはいつ頃ですか？

--

- 2 活動を始めたきっかけは何ですか？

--

- 3 これまでに貴組織でどのような活動に関わってこられましたか？

--

- 4 貴組織が取り組むべきと思われる課題があればご記入ください。(上位3つまで。)

①組織の「マネジメント能力」の現状を把握しましょう！

ミッションが組織内で共有され、ミッション達成のためのPDCAが回っているか、組織が力を発揮するためのリーダーシップやガバナンス(組織の管理・運営)が機能しているかチェックしましょう。(*PDCAとは;P=Plan(計画) D=Do(実行) C=Check(評価) A=Action(改善)という継続的な業務改善サイクル) 評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄にご記入ください。

○ 質問には「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。
 ○ 7つの視点からの合計53個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
 ○ 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。
 ○ 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

A	ミッション
1	明文化されたミッション(何のために、どのようなことをする組織であるか、という組織の使命)が存在している。 (ミッションがある場合はお書きください。)
2	ミッション(使命)は*1リーダー層・*2スタッフに理解され、共有されている。
3	リーダー層・スタッフは、ミッションを自分の言葉で説明することができる。
	<small>*1: リーダー層とは理事・事務局長などの意思決定者、責任者のことを指します。 *2: スタッフとは常勤・非常勤を問わず、主に有給で働いている職員のことを指します。 ※ リーダー層とスタッフの両方に属する人もいます。</small>

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。

B	社会的課題・ニーズの把握と組織の客観化
1	社会的課題の背景や原因、社会環境の移り変わりなどを考慮したうえでミッションが設定されている。
2	組織の代表者やリーダー層およびスタッフは組織の強みと弱みを説明できる。
3	課題発見や解決策を構想するために第三者の意見を得るなどの取り組みを行っている。(調査研究、専門家からのアドバイスを得るなど)
4	地域や資金提供者や協力者のネットワークを通じて、地域やその分野で起きていることを把握している。
5	アドボカシー(特定の政策を実現するために社会的に働きかけること)の取り組みを行っている。
6	受益者のニーズを常に把握して事業に活かしている。

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。

大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない

大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。

◆協働への取り組みに関する質問	
事業を展開するうえで適宜、	
9	行政・公共機関や民間企業などの他のセクターと協力・協議する関係を持っている。
10	自治会などの地縁組織、他のNPOなどの市民団体や中間支援団体と協力・協議する関係を持っている。
11	他のNPOなどの市民団体や中間支援団体とアドボカシーを一緒に考えている。
12	広範囲に活動が広がることを目的として、考え方やノウハウの移転を行っている。
13	他の組織と協働を進めるうえで方針や基準がある。
◆情報開示(アカウンタビリティ)に関する質問	
14	法律で定められた事項(定款、組織体制など)をわかりやすく公開している。
15	会計報告書を作成し、公開している。
■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。	
G その他(組織風土、リスクマネジメントなど)	
1	自由に討議できる組織風土や場がある。
2	意思決定の方法がスタッフからわかりやすく風通しがよい。
3	スタッフの意見が積極的に活用されている。
4	スタッフに積極的に権限を与えている。
5	組織活動に重大な影響を及ぼしうるリスクを把握している。
6	上記のリスクに対して、あらかじめ対応策を策定している。
7	データの損失や情報の漏えいを予防するための対策をとっている。
8	個人情報保護方針を策定し、個人情報を保護する具体的な仕組みを整備している。
■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。	

大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない

②組織の「人材」の現状を把握しましょう

ミッションを達成するために必要な人材構成・配置になっているでしょうか。スタッフの成長を組織がサポートし、力を最大限に発揮できる環境が作られているでしょうか。チェックしましょう。

評価するには、次の点に考慮して下記チェック欄にご記入ください。

- 質問には「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。
- 5つの視点からの合計37個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
- 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。
- 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

A スタッフに求められる資質・能力		大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
	下記にあげる能力、資質をすでに現状のスタッフは持っていると思いますか。					
1	ミッションへの共感					
2	ミッションを具現化する構想力・企画力					
3	事業・活動を展開するうえで必要な専門性					
4	生活や現場で起こる個々事象から、社会課題をくみ取り提起する力					
5	組織運営・マネジメント能力					
6	アドボカシー					
7	他の組織・機関と協働する力					
8	コミュニケーション力					
9	社会環境の変化を察知する能力					

③組織の「財務管理とインフラ」の現状を把握しましょう！

財務状態が健全であることは、組織の安定性を保つためには欠かせません。
 財務の悪化ははじめは些細なことからはじまり、放置しておくとな致命的な経営問題に発展していくこともあります。
 そこで、日常業務のレベルから貴組織の財務状態の現状把握を試みましょう。
 評価するには、次の点に考慮して下記チェック欄にご記入ください。

- 質問には「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。
- 5つの視点からの合計33個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
- 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。

A 財務管理全般		大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
1	組織が成果を出せるように、人材や資金などの経営資源を効果的に配分している。					
2	支出のうち、総事業費に占める特定非営利活動に係る事業費の割合が80%以上である。					
3	総会または理事会が承諾した予算に基づいて財務が執行されている。					
4	経理・会計に関する専門スキルをもった担当者(兼務を含む)、アドバイザーがいる。					
5	外部監査が行われている。					
6	事業部門と管理部門に分けた部門別収支を把握している。					
7	ボランティアの業務や現物寄付などを金額換算し、おおよそどのくらいか把握している。					
B 資金調達		大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
1	多様な財源をもっている。					
2	資金調達計画を作成している。					
3	資金調達をする担当者(兼務を含む)、担当グループもしくは協力者がいる。					
4	寄付、会費、出資金など、組織に共鳴する人たちからの支援的資金を確保する努力をしている。					
5	会員や寄付者の名簿を作成し、管理している。					
6	支援的資金は過去3年間を通して増加している。					

F	インフラ
1	十分なオペレーションを実行する資源(設備、システム、ソフトウェアなど)がある。
2	資源(設備、システム、ソフトウェアなど)を効果的に運用する(ITスキル)人材がいる。
3	法的な課題に適切に対処できる、もしくは相談できる専門家がいる。

大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない

④組織の「事業の全体像」の現状を把握しましょう！

組織のミッションを達成するために、現在の事業構成は最適でしょうか。それぞれの事業は「成果」を挙げられているでしょうか。チェックしましょう。

* この4つの事業で最低でも全体収入の7割を占めるような事業を選んでご記入ください

* 事業が4つ存在しない場合はすべてを記入する必要はありません

評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄にご記入ください。

○ 質問には「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。

○ 3つの視点からの合計7個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。

○ 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。

○ 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

■主な事業

下記の事業についてお答えください。

事業1						
事業2						
事業3						
事業4						
A	事業の強みと弱み					
事業のそれぞれの強みと弱みを挙げてください。						
事業1について 強み:						
弱み:						
事業2について 強み:						
弱み:						
事業3について 強み:						
弱み:						
事業4について 強み:						
弱み:						
B	事業の成果目標、成果指標	大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
1	事業1, 2, 3, 4のそれぞれにおいて具体的な成果目標、成果指標(社会におけるプラスの変化や状態の改善、対象者にとっての変化など)を設定している。	事業1	事業2	事業3	事業4	
2	特に改善すべき事業はありますか？	ある	ない	わからない		

	「ある」場合、それは何ですか？						
3	今後必要であると思われるが、まだ実施していない事業がありますか？	ある	ない	わからない			
	「ある」場合、それは何ですか？						
C	事業成果の把握と事業の将来像について	大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない	
1	事業1, 2, 3, 4についてそれぞれの成果目標を達成できている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
2	各事業の3年後の事業展開について明確な将来像がありますか？		ある	ない	わからない		
		事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
	■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください。						

⑤組織の「事業の効果をあげるため」に現状を把握しましょう！

各事業における事業開発、計画能力、マーケティング能力をチェックしましょう。

* ここでは診断用シート④で選んだ4つの事業について引き続きお答えください。

* 設問中の対象者という言葉は、事業によって「顧客」「受益者」「利用者」「潜在的利用者」などに置き換えてお考えください

評価するには次の点に考慮して下記チェック欄にご記入ください。

○ 質問には「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。

○ 3つの視点からの合計23個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。

○ 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。

○ 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

■主な事業

下記の事業についてお答えください。(④に同じ)

事業1

事業2

事業3

事業4

※ 設問中の対象者という言葉は、事業によって「顧客」「受益者」「利用者」「潜在的利用者」などに置き換えてお考えください。

A 事業開発・計画			大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
1	各事業では具体的で定量的な目標を設定している。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
2	各事業では、目標達成のための指標を持っている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
3	各事業の目標達成のための計画をたてている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
4	各事業についての達成度を定期的に確認している。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
5	各事業に関連する社会課題について社会環境や政策動向の変化を調べて把握している。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
6	各事業の対象者のニーズを把握する具体的方法(アンケート調査など)を持っている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
7	同業者の存在を意識し、同業者との違いを認識し、優位性を実現するための努力をしている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
8	各事業の対象者について具体的な想定が明確になっている。 (例えば年齢、性別、居住地、家族構成、趣味や信条、時間の使い方など)	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
9	各事業において事業の計画に沿った人員配置をしている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					

10	計画において、事業展開に必要な資金や、その他の資源の調達は、実現可能になっている。 (例えば単年度の助成で立ち上がった事業であっても、その後の継続的な資金の調達が可能になっている、など)	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
11	現実的な積算根拠に基づいて事業の採算性を把握している。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
12	事業の成果や効果をあげるために、他の組織との協働やネットワークを活用することで資源を調達している。 (資源とは、専門性や人材、場所などを含みます)	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
13	事業を継続し発展させていくために必要な資金や資源獲得のための活動を行っている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
B	マーケティング		大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
1	提供するサービス(あるいは商品やプログラム)の内容は、対象者のニーズに沿った適切なものになっている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
2	提供するサービス(あるいは商品やプログラム)は、十分な品質・機能を確保している。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
3	対象者のニーズの変化に対応したり、新たな地域課題を解決していくために、常にサービス(あるいは商品やプログラム)の改善、開発に取り組んでいる。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
4	提供するサービス(あるいは商品やプログラム)の価格は、事業を継続するに足る収益を確保できる水準に設定されている。(価格はサービスなどの受け手から対価を得る場合と、委託や助成などによるサービスなどを提供する場合の両方を含みます)	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
5	提供するサービス(あるいは商品やプログラム)の内容や提供方法は、対象者にとって利用しやすいものになっている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					

6	提供するサービス(あるいは商品やプログラム)は、対象者の特性に応じた適切な広報活動を行っている。「広報活動」には、有料・無料広告、セミナーやパーティーの開催、ダイレクトメール、キャンペーンの実施、ニュースリリースなど、あらゆるものを含みます。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
7	対象者の名簿を整備して顧客管理に利用している。(対象者の名前や連絡先だけでなく、いつ何を利用したかなどを記録に残し、効果的なアプローチに利用するなど)	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
C	評価・改善		大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
1	評価に基づいた事業の収支目標を立案し定期的な実績のチェックを行っている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
2	計画との差異の原因を分析して次の計画に反映している。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					
3	提供するサービス(あるいは商品やプログラム)が対象者のニーズを満たしているか定期的に見直して以降の計画に反映する仕組みを持っている。	事業1					
		事業2					
		事業3					
		事業4					